

平成23年度 各協議会・部会活動報告

《病院栄養士協議会》

病院栄養士協議会長

国仲 朝代

平成23年3月11日に起きた東日本大震災は未曾有の大災害で、今までの概念をも覆す想定外の事態が発生しました。被災地への支援活動は今なお続けられ、安全管理・危機管理は狭域・広域において見直され始めています。それは、また、私たちの日々の業務にも繋がるものでもあります。栄養食事指導・栄養管理計画・チーム医療・フードサービス・地域活動など多忙な業務ですが、医療の質や安全性の向上・高度化・複雑化に伴う業務の増大に対応するには、情報の共有が必要となります。23年度は、各々の病院に於いてのチーム医療が様々な医療現場で実践され、症例検討発表が数多くある年でした。24年度は、これからの地域連携におけるネットワーク作りが大きな課題といえます。

〈活動状況〉

1. 研修会 平成24年度診療報酬改訂 ポイントと栄養管理の今後について
(社)日本栄養士会病院栄養士協議会 副会長 渡辺啓子
2. 地域活動
 - ①小児糖尿病サマーキャンプ 8/2～8/5 玉城青年の家
 - ②糖尿病週間行事 展示・栄養相談・講演会 10/22
 - ③看護協会での講演会・調理実習 「高齢者の食事」
 - ④IBD友の会、調理実習 10/23
 - ⑤県民健康フェア 栄養相談 9/17
 - ⑥栄養ケアステーションでの電話栄養相談(月曜日午後2時～5時) 17回/年
3. CKD戦略研究(腎疾患重症化予防のための戦略研究)への協力

《地域活動栄養士協議会》

地域活動栄養士協議会長 狩

俣 美智子

平成23年度は、会員約126名が在籍、社会のニーズに対応しうる実力ある栄養食事指導、支援ができるよう情報を共有し、スキルアップに努めて妊産婦から乳幼児、高齢者まで、ライフステージに合わせた県民の食生活、健康づくりの支援を行いました。

今後、在宅医療の支援体制強化に伴い、クリニック等における栄養相談や特定保健指導等で、皆様の活躍の場が増えることが想定されます。その他の機関・他職種との連携

も図りながら各自が持てる力を出し合い新しい分野にも挑戦できるよう、ご意見、ご指導、ご協力を希望し定例会へのご参加をお待ちしております。

★平成 23 年度 会員の交流、スキルアップのための活動

・生涯学習や疾病の重症化予防のための食事指導活動拠点整備事業研修会、行政・地栄・集団健康栄養士協議会研修会（検査値に基づいた保健（栄養）指導）を始め、各種研修会の企画・運営に携わるとともに、多くの会員の参加がありました。

・定例会 6回開催 情報交換、ミニ勉強会実施。

（毎月第 3 土曜日定例会の開催を行います。他の事業とちがう場合は中止。）

ミニ勉強会内容 4 月 : 時間栄養学。 7 月 : 食育、食物アレルギー。

11 月 : 糖尿病の予防。 12 月 : 会員間交流。

2 月 : 全国地域栄養士協議会リーダ-育成研修会報告。

3 月 : 5 ADY I 食育プログラム伝達学習。離乳食について。

★平成 23 年度 主な地域活動

・市町村ヘルスアップ事業 ・栄養ケアステーションでの電話栄養相談 ・県民栄養調査の協力

妊産婦の食生活相談、乳幼児健診時の栄養相談、一般栄養相談、特定健診保健指導等。

・クリニックにおける栄養相談 ・食育月間の委託事業（展示、調理実習、食育寸劇）

・高齢者の介護予防教室の講師 ・東日本大地震被災者支援（サーターアングダギー差し入れ）

・那覇市委託事業の外食アドバイザー派遣事業に協力 ・マスコミ依頼の出演、執筆等。

・企業依頼の健康クッキング教室、5 ADY 事業の協力 ・各種イベントにおける栄養相談

・保育園や学校、地域での食育の講師 ・「うちな一版食育カルタ」による食育

《行政栄養士協議会》

行政栄養士協議会長

砂邊 里佐

行政栄養士協議会の活動としては栄養士会とともに地域の健康づくりに取り組んでいくことが第一であります。また、市町村栄養士の重要な課題であり、業務の中心でもある特定健診・特定保健指導の業務も評価の年が平成 25 年と、いよいよ迫って参りました。それに加えて、食育基本法に伴う「第 2 次食育推進計画」の推進も図られているところであります。

効果的な栄養指導を担うことはもちろんですが、施策として業務を円滑に推進するために、行政栄養士がどのように取り組めばいいのか、行政部会としても地域の栄養士さんに呼びかけて研修会を開催し、栄養士会会員の情報交換をいたしました。また、行政

部会のメーリングリストを作成し、情報の共有化を目指しております。

これからの課題としては、更に健康危機管理体制の検討や地域の保健サービスにおける栄養士の質の向上等、取り組まなければならない事案が多くあり、栄養士行政部会として取り組んでいきたいと思っています。

《福祉栄養士協議会》

福祉栄養士協議会長

上間 鈴美

平成 23 年度の当協議会は、児童・障がい・高齢のそれぞれの分野において、食、栄養の専門家として国民の健康・福祉の増進に寄与したいとの思いで調査研究が行われています。

今後は、それぞれの専門性を訴え、管理栄養士・栄養士の制度、身分等の維持向上していくためには、組織の力とスキルアップやレベルアップが図られる福祉部として取り組んでいきたいと思っています。

<研修会>

①全国福祉栄養士協議会 第 16 回専門研修会

平成 23 年 7 月 2 日（土）・3 日（日）九州ブロック会場（鹿児島県）

・「食事アセスメントと食習慣指導の理論と技術」 障がい（5 人参加）、高齢（1 人参加）

②福祉栄養士研修会

平成 23 年 7 月 30 日（土）14:30～

・「嚥下内視鏡による嚥下障害への対応」 講師：かじまやークリニック 金城 聡彦 先生

<福祉協議会定例会>

毎月第 3 水曜日 午後 7 時 30 分から栄養士会事務局にて

*多くの会員のご参加をお待ちしています。

《学校健康教育栄養士協議会》

学校健康教育栄養士協議会長

石川 理恵

平成 23 年度は会員のスキルアップにつながる勉強会を、金城典子氏を講師にむかえ 3 回開催しました。県栄養士会の事業にも会員の協力を得て参加活動しています。その他にもそれぞれの学校での授業や PTA 等からの講師依頼などがあり、今後も子どもたちの健康のために会員同士協力していけるようにしたいと思っています。

<主な活動報告>

- ◎小・中学校での授業と献立による食指導
- ◎栄養ケアステーション
- ◎県民健康フェア ◎おきなわ花と食のフェスティバル 等

《集団健康管理栄養士協議会》

集団健康管理栄養士協議会長

儀保 玲子

平成23年度は県栄養士会主催の独自事業、委託事業に参加しました。集団健康管理は会員が少なく、協議会独自の事業は難しいのが現状です。そのため今年度は行政・地域活動栄養士協議会と合同で研修会を計画しました。金城典子氏を講師に迎え、検査値に基づいた保健（栄養）指導というテーマで研修会を実施し、糖尿病、慢性腎臓病の知識を深めることができました。24年度も他の協議会と連携し事業を計画するなど会員のスキルアップをめざすとともに、協議会を充実させていきたいと思いますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

〈 主な活動報告 〉

- ・新人栄養士研修会 ・生涯学習 ・栄養士研究発表会 ・NST 勉強会
- ・管理栄養士国家試験対策講座 ・食育月間の委託事業（展示、食育寸劇） ・日本臨床栄養研修会

《宮古栄養士会部会》

宮古栄養士会部会長

細田 実

今年度の宮古栄養士部会の活動報告をいたします。

まず6月に「栄養士・管理栄養士のスキルアップセミナー」を開催いたしました。株式会社商工技能振興会（SGS）代表の安倍隆雄講師をお招きし、宮古島市に在籍する栄養士・管理栄養士が基礎栄養学を中心に学習しました。

7月～8月にかけては、宮古島市主催の沖縄県調理師試験対策講座へ4名の講師派遣を行いました。合計10回のべ30時間に渡る講義に尽力いたしました。各講師が作成したオリジナル問題を含めた模擬試験も実施し、調理師を志す30名の方に足を運んでいただきました。昨年度に引き続き合格率80%以上を誇り、合格者からうれしい声が届いています。

また8月には、「夏休み小学生料理教室」を実施しました。宮古島産の食材を用いて地産池消をテーマに30名ほどの小学生に楽しく料理を実体験していただきました。多くの小学生から反響をいただいたので、来年度も更に充実した教室とし、地域の食育に貢献していきたいと考えています。

9月には宮古島市主催の健康沖縄21イン宮古大会「ちゃーがんずうー沖縄応援団ま

つり」にて栄養相談ブースの参加協力をしました。また通年の活動ですが、今年度も宮古島市健康増進計画推進委員会に委員として参加協力しております。

以上のように、我々宮古栄養士部会では、会員のスキルアップを目的とした勉強会を定期開催するとともに、そこで培った知識や技術を地域に還元できるように努めています。来年度も「食・栄養のスペシャリスト」として宮古島市の健康増進に貢献していけるような団体を目指して活動いたします。

《八重山栄養士会部会》

八重山栄養士会部会長

松原 愛子

<活動内容>

1. 研修会

①八重山ではなかなか本当での研修会や勉強会への参加が難しいため、島内の栄養士のスキルアップを目的に症例検討講座を月に1回開催

場 所：八重山病院 時 間：18:30～20:00 開 催：5回 参加人数：延

べ52名

②管理栄養士国家試験対策として、勉強会・模擬試験を実施

場 所：八重山病院 時 間：18:30～20:00(勉強会)、10:00～17:30(模擬試験)

開 催：25回 参加人数：延べ127名

2. 地域活動

①毎月19日の食育の日に地元新聞社へ「栄養士の働く職場紹介」を掲載

②八重山部会研修会・定期総会

<研修会> 7:00～8:00 テーマ：自彊術について学ぼう 講師：木内三和子

<総 会> 8:00～8:45 場 所：石垣市健康福祉センター 参加者：41名

③親子料理教室の開催

日 時：平成23年8月27日 場 所：石垣市健康福祉センター 参 加：1

1組 28名

④第22回石垣市健康福祉まつりでの栄養士会コーナーの設置

日 時：平成23年12月4日 場 所：石垣市健康福祉センター

内 容：体験コーナー「今の自分の体を知ろう！」

パネル展示「BMI・健康おきなわ21に関する資料」

⑤ヘルシーメニューコンテストー私の手作り朝ごはんー（高校生対象）の共催開催

日 時：平成23年12月17日 場 所：八重山保健所

主 催：八重山保健所

共 催：(社)沖縄県栄養士会八重山部会 (社)沖縄県食品衛生協会八重山支部
八重山調理師会 沖縄県食生活改善推進員連絡協議会八重山支部

⑥食育劇場の実施

日 時：平成24年1月25日 対象：みやら保育園児75名
内 容：「アキちゃんの元気のもとして何？」

《糖尿病療養部会》

糖尿病療養部会長

福里 勝子

当部会の主な活動内容は、糖尿病に関する研究、研修会の開催、日糖協県支部が主催する小児糖尿病サマーキャンプ、全国糖尿病週間等の協力と、部会員への弥生、さかえの発送作業を行っています（弥生については、昨年9月号で終盤となりました）。

8月に行われる小児糖尿病サマーキャンプにおいては、ここ数年はカーボカウントにて指導を行っています。4月から勉強会や資料作りを行い、年々レベルアップを図り、栄養士のチームワークも強いものとなってきました。昨年は残念な事に台風の影響で1泊2日に短縮されたキャンプとなりました。

糖尿病に関する研究として「食品及び料理による食後血糖値の変化についての研究」は、今までの研究の解析を行いました。更なる解析、検討を重ね、今後、会員の皆様にも報告できたらと考えています。

小児糖尿病サマーキャンプや全国糖尿病週間等、各施設、多くの方々の参加、協力がありました。参加、協力された皆様、どうもありがとうございました。

〈活動状況〉

① 研修会(CDE 第1群 0.5単位取得)

〈Ⅰ〉7月9日グループワーク

〈Ⅱ〉11月12日「栄養士が出来る運動指導～室内で道具を使用しない運動～」

ハートライフ病院 理学療法士 長嶺敦司先生

〈Ⅲ〉4月26日「糖尿病の新情報～HbA1cの新基準について～」(仮)

大浜第一病院 高橋 隆先生

②第34回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ 8月2日～3日玉城少年自然の家

② 研究「食品及び料理による食後血糖値の変化について」検討会

9月4日、11月12日

④第46回 全国糖尿病週間 10月22日 那覇メインプレイス

⑤糖尿病予防キャンペーン・第4回美ら海ウォークラリー 11月20日

沖縄コンベンション劇場